     年     月     日

様式10

申請書を選択してチェックを入れてください（チェックボックスをクリックすると入力されます）

**同志社大学赤ちゃん学研究センター「計画共同研究」申請書**

**同志社大学赤ちゃん学研究センター「一般共同研究」申請書**

同志社大学　赤ちゃん学研究センター

センター長　板倉　昭二　殿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請機関 | 名　称： |  | |
|  | 住　所： |  | |
|  | 研究責任者※1　職　名: |  | |
|  | 氏　名:  名： |  | 印 |

同志社大学赤ちゃん学研究センター（以下、「当センター」という。）が公募する「計画共同研究」又は「一般共同研究」に応募して研究を実施いたしたく、以下のとおり申請いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **詳細** |
| 研究課題名 |  |
| 研究分野  ・計画共同研究は６分野から  選択、一般共同研究は６分野  から選択又は対象とする分野  をその他に記入してください | 発生学分野　　 統計学／情報学分野  政策学分野（福祉学、経済学等を含む）  心理学／教育学分野  看護学分野　　 人間学分野（倫理学等を含む）  その他（　　　　　　　　） |
| 研究の実施体制 | 研究責任者※1の所属・職名・氏名：  研究分担者の所属・職名・氏名・役割：  研究分担者の所属・職名・氏名・役割： |
| 試料・情報の取得  ・当センターで実験・調査を行う場合、参加者のリクルートは、当センターが行います  ・当センターの設備を利用して  実験・調査を行う場合、別途、  「設備の利用申請」が必要です | 新たに取得するため、以下の施設で実験・調査等を行う  同志社大学赤ちゃん学研究センター  申請機関の施設  その他の施設（名称：     　　　　　　　　　　　）  以下の施設が保有する既存試料・情報を用いる  同志社大学赤ちゃん学研究センター  申請機関の施設  その他の施設（名称：     　　　　　　　　　　　） |
| 倫理審査申請 | 必要とする  必要としない（理由：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 研究予定期間※2 | 研究許可日～     年３月３１日（共同研究終了予定日） |
| 申請者 | 所属・職名・氏名：  連絡先：[TEL]  　　　　[FAX]  電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ： |

※1：研究責任者とは、研究の実施に携わるとともに、所属する研究機関において当該研究に係る業務を統括する者と定義します。

※2：計画共同研究は研究費の予算執行が伴うことから1年間です（公募年の翌々年3月31日まで）。

一般共同研究は最大5年間又は3年間（医学系研究の場合）です（5年又は3年を超えない最終年度の3月31日まで）。

|  |
| --- |
| **研究の目的、研究方法など※3（3頁以内で記述すること）** |
| （概要）  （本文）  *※留意事項：*   1. *本申請書は、同年度の基盤研究(A・B・C)（一般）、若手研究　研究計画調書（添付ファイル項目）と同じフォームになっています。* 2. *本文全体は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。* 3. *各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。* 4. *指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。* 5. *本留意事項（斜体の文章）は、研究計画調書の作成時には削除すること。* |

※3：本研究が赤ちゃん学の深化発展に資する、又は、「赤ちゃん学」の研究拠点形成に寄与することを含めて、特に次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、について具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

|  |
| --- |
| **本研究の着想に至った経緯など※4（1頁以内で記述すること）** |
|  |

※4：本欄には、(1)本研究の着想に至った経緯と準備状況、(2)関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、について１頁以内で記述すること。

|  |
| --- |
| **応募者の研究遂行能力および研究環境※5（2頁以内で記述すること）** |
| *※留意事項*   1. *研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。* 2. *研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。* 3. *論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。* 4. *本留意事項（斜体の文書）は、研究計画調書の作成時には削除すること。* |

※5：本欄には応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について２頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

|  |  |
| --- | --- |
| **内容** | **詳細** |
| 研究費財源  ・同志社大学  赤ちゃん学研究センター  「計画共同研究」申請の場合、  申請費目にチェックを入れ、  内訳は必要に応じ、増やして  ください（上限：年間40万円）。  ・灰色文字は見本です。  実際のものに置き換えて  黒字にして申請ください。 | **「計画共同研究」申請の場合:**  旅費交通費（ 50千円）  　 内訳：国内学会（東京）移動 30千円 ×1  　　　　 国内学会（東京）宿泊 20千円 ×1  消耗品費（ 190千円）  　 内訳：ハードディスク1TB 10千円 ×1  　　　　 ○○試薬20g 50千円 ×3  　　　　 ○○用ソフトウェア 30千円 ×1  諸謝金（ 160千円）  　 内訳：参加者謝金 2千円 ×1時間×90人  実験補助者謝金 1千円 ×7時間×10日  通信運搬費（ 千円）  　 内訳：  印刷製本費（ 千円）  　 内訳：  会議開催費(施設設備賃借料)（ 千円）  　 内訳： |
| **「一般共同研究」申請の場合:**  文部科学省科学研究費補助金  厚生労働省科学研究費補助金  その他の公的研究費  企業等からの研究費  企業等からの寄付金  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 利益相反 | なし  あり  　 対応： |
| 研究成果の公表方法 | ホームページに情報を掲載  　 ホームページの名称：  　 ホームページのURL：  論文等の学会や学術誌等での発表をもって公表とする  その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　） |

以　上